

中東イエメンで教育支援に携わったときのこと。農村では、学校を中退する女の子が多いことが問題となっていました。「水くみは女の子の役割」という社会慣習があるために、少女たちは毎日、家から遠く離れた井戸まで水くみに行かなければならなかったのです。教育活動に加え、地域ぐるみで社会慣習の見直しを進めた結果、学校に通う女の子は次第に増えていきました。人々の健康や生活を支える水は、社会のさまざまな側面と互いに結び付いています。

近年の人口増加や経済発展の影響を受け、世界の水をめぐる課題は深刻化しています。国際社会は「持続可能な開発目標(SDGs)」で、2030年までに「全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保」することを目指しています。他方で、経済協力開発機構(OECD)は、2050年には2000年と比べて世界全体の水の需要が55%程度増加すると予測しています。

水源から蛇口まで一貫した品質管理を行う日本の水道システムは世界トップクラス。「安全な水」は国際協力におけるジャパンブランドの一つです。本号で紹介したとおり、水道に関する日本の国際協力は、地方自治体などが持つ組織運営や料金徴収のノウハウ、高い技術や人材育成能力に支えられ、アジアやアフリカなどで成果と信頼を築いてきました。渇水や地震などを視野に入れた防災・減災の取り組みも、世界から注目を集めています。誰も取り残されることなく水の恵みを享受するには何が必要か。環境と共存しながら水資源をどう確保していくのか。日本が培ってきた経験や知恵を発信し、他の国々と分かち合うことが、地球の未来づくりへとつながっていきます。

広報室広報課長 小泉高子

本誌へのご意見・ご感想や JICAへのご質問を お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2016年6月15日

Eメール：jica@idj.co.jp
FAX：03-3221-5584(『mundi』編集部宛)

- ① ポツワナの手作りアクセサリー
- ② 書籍『ケニアへかけた虹の橋
30年の国際ボランティア活動』(p37参照)
- ③ 書籍『ゆめのはいつつにん』(p37参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形で送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送を手配いたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F
TEL 03-3221-5583
FAX 03-3221-5584
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2016年6月1日発行予定)

スポーツの力

日本は体育教育やスポーツ支援を通じて、開発途上国の人づくりや民族融和、平和構築などに貢献してきました。リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが迫る中、社会を元気にするスポーツの力をご紹介します。

mundi

MAY 2016 No.32

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ(<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>)でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。